

伊豆市議会議員 市政報告 小長谷順二 通信

第36号 令和4年1月



小長谷順二 後援会事務所
伊豆市土肥 450-7
TEL/FAX 0558-98-0400
<http://konagayajunji.web.fc2.com/>
Email photo-ko@yc5.so-net.ne.jp
facebook
小長谷順二 検索

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

依然として世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症について、伊豆市では8月20日をピークに10月7日以降11月・12月の感染者はありませんでした。しかし新たな変異ウイルス「オミクロン株」による第6波の可能性も懸念される状況でありさらなる対策が必要です。

観光産業を生業とする伊豆市では、コロナ禍で観光客の激減や緊急事態宣言中の営業自粛など、大きな経済的打撃を受けています。国や県の施策のすき間を埋める伊豆市独自の経済対策が求められています。

二元代表制の一翼を担う責任ある意思決定機関の議会議員として、コロナ対策、地域の課題解決、そして持続可能なまちづくりと発展の為に力を尽くしてまいります。

本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げますと共に、皆様にとりまして実り豊かな年となりますようお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

令和3年12月定例会 一般会計補正予算

・・・・・・・・・・(おもな事業)・・・・・・・・・・	
清算に伴うバス路線維持事業補助金	2,329万円
犯罪被害者等見舞金	40万円
児童手当制度の改正に伴うシステム改修委託料	209万円
焼却施設の故障に伴う焼却処理委託料	872万円
森林施業の増加に伴う森林整備事業補助金	710万円
企業立地事業費補助金	435万円
校内改善通信ネットワーク環境整備費	1,555万円
新中学校造成工事費	2億7,700万円
9月豪雨災害市道復旧工事費	2,125万円
子育て世帯への臨時特別給付金	3億2,000万円

伊豆市犯罪被害者等支援条例の制定

平成16年に「犯罪被害者等基本法」が制定されたことを受け、県では平成26年に静岡県犯罪被害者等支援条例を制定しました。その後、県内各市町で条例化が進み伊豆市においても大仁警察署と連携をとりながら作業を進め条例上程の運びとなりました。

この条例は、犯罪被害を受けた方を支援するために支援体制等を明確にするために、支援に係る事項を条例化し、市職員、市民の意識向上をもたらす、犯罪被害者に対する認識や連携の必要性を高め、その受けた被害を回復又は軽減し、再び平穏な生活を営むことができるようになるまでの間、被害者が置かれている状況に応じて適切に途切れることなく取り組んでいく為に制定されました。

合併特例債の発行状況

合併特例債の伊豆市の発行限度額は172億2,780万円です。借入額については、平成16年度から令和2年までが74億7,350万円、今回の補正予算で上程されている新中学校整備事業費を追加した令和3年度の発行見込み額が41億3,480万円となります。

令和3年度発行見込み額を加算した借入総額は116億830万円となり、来年度以降の発行額は56億円1,950万円となります。

令和3年度は松原公園津波複合施設、牧之郷駅周辺整備、新中学校整備事業、天城営林署跡地整備、日向防災公園事業、広域焼却処理施設整備事業等の発行がありました。

伊豆市萬城の滝キャンプ場条例の一部改正

萬城の滝キャンプ場は直営施設として市が管理運営を行っていますが、将来的な民営化を見据えてサウンディングを行った民間企業から、キャンプ場に隣接し、現在市が借地している広場を含めた一体をキャンプ場として事業展開したい旨の申し出があり、

当該企業と地元住民等と協議を行い、整備計画に賛同をいただいた為に条例の一部改正を行いました。民間企業のノウハウを活かした事業運営を望みます。



キャンプ場の近くにある「萬城の滝」

土肥集学校「おかしなめいろ」イベント

旧土肥小学校をITを活用した交流の場「土肥集学校」として再生するリングロー（株）は12月12日にお楽しみイベント「おかしなめいろ」を開催しました。

来夏の本格オープンを前に地域の人たちに集学校を周知するために、段ボール100マス迷路を元ランチルームに設置し、おかしを集めながら親子で楽しんでいただくイベントを実施、多くの方が参加し、にぎやかに行われました。

今後も地域の方が集学校に関心を持っていただくような催しを計画していきたいと担当者は話していました。

土肥集学校はプレオープン中で毎週火曜日から土曜日の午前9時～午後6時まで無料パソコン相談や電化製品の無料廃品回収を行っていますので相談してみたいはかがでしょうか。



100マスのダンボール迷路を設置

新たな観光促進事業「今こそしずおか元気旅Ⅱ」

静岡県内観光促進事業として、令和4年1月11日～1月31日まで。新たに「今こそしずおか元気旅Ⅱ」として、静岡県民の他、隣接する山梨県、長野県、愛知県、神奈川県各県民を割引対象に加えて実施します。

実施に当たっては、ワクチン・検査パッケージの活用やふじのくに安全・安心認証宿泊施設の利用、旅行者と静岡県内受入施設双方への呼びかけ等により、感染防止対策を徹底して行う予定です。

◎ 宿泊費または日帰り旅行代金の1/2：1人最大5,000円

◎ 割引に合わせて地域クーポンを付与（最大2,000円）

※日帰り旅行は静岡県内を発着地とし、静岡県内で催行する日帰り旅行（静岡県内の旅行業者での申し込みに限る）

今後、国が実施する予定（1月中下旬～2月再開）で検討している「Go To トラベルキャンペーン」のつなぎとして地域の観光促進に寄与する事業が始まりますのでぜひご活用ください。



土肥金山夜桜ライトアップ

伊豆市親善大使 橋爪功氏 講演会

11月3日、橋爪功氏の講演会を土肥・小土肥地域づくり協議会主催で旧土肥小学校の体育館で開催しました。

橋爪功さん主催の『菜の花舞台』の始まりは、平成元年に放送されたNHK連続テレビドラマ小説「青春家族」。



土肥で行われたロケをきっかけに、橋爪功さんと土肥の若者たちとの交流が始まり、橋爪功さんの稽古場「橋伊豆」が小土肥に建設され、橋爪さんとの交流がより一層深まってきました。ある日の橋爪さんとの会話の中から、菜の花の咲き乱れる中での舞台公演構想が生まれました。

実現に向けて皆が一丸となり努力を重ね、平成6年、ついに第1回の公演が行われました。そして平成30年には伊豆市親善大使にも委嘱され、30年に及ぶ繋がりとなっています。

第1部の朗読では橋爪さんの高校時代の1年先輩にあたり、昨年10月にお亡くなりになった落語家柳家小三治師匠の絵が描かれた幕を掲げ、「駐車場物語」（柳家小三治『ま・く・ら』より）を披露しました。

第2部は演劇集団円役者の鈴木佳由さんとトークによる講演で、青春家族のロケでの土肥地区の人との出会いや稽古場「橋伊豆」の建設、そして四半世紀以上続いている菜の花舞台を振り返り、「若い人がたくさん手伝ってくれるようになった。作業を頼むとすぐにできてしまうのが土肥」と感謝の気持ちを述べていただきました。

橋爪さんは野外演劇について「役者は自然に助けられ、外でやるともうちょっとやりたいと思うようになる。経験するのとしらないのでは大きく違う」と語りました。

コロナの影響で2年開催できなかった菜の花舞台、来春は絶対開催するぞ！と力強く述べました。

そしてこの講演会に合わせたかのように講演会当日の新聞に「旭日小綬章」を受章されたおめでたい記事が掲載され、改めて土肥とのご縁を強く感じました。



「なぜか私は土肥温泉」の講演会

第35回

小長谷順二市政報告会

令和4年1月27日（木）

PM7時～土肥支所4F 集会室

伊豆市では12月17日、議会最終日の追加予算案が原案通り可決され、子育て世帯への臨時特別給付金10万円を全額現金で一括給付すると発表しました。

先行給付を始める予定だった児童手当制度を活用して12月24日に給付しました。岸田文雄首相は12月13日、自治体の事情に応じて年内に10万円の現金一括給付を認める意向を突如表明しました。当初、国からの通知、二転三転する政府方針に伊豆市も混乱しましたが年内支給を行うことが出来ました。